



重要情報シート（個別商品編） 投資信託 回答例

以下は、重要情報シート（個別商品編）の「よくあるご質問例」に対する回答例です。実際の回答はお客さまや商品ごとに異なることがあります。

1. 商品等（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

番号	質問	回答
①	当金庫が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 当金庫では、お客さまのライフイベントにおけるニーズをお伺いした上で、お客さまの知識、経験、資産、リスク許容度等をふまえ、お客さまに適切な商品をご提案させていただきます。
②	この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができますか。	<ul style="list-style-type: none"> 当金庫で販売を行っている投資信託について、月次でマンスリーレポートを当金庫ホームページに掲載しています。 マーケットの変化や投資信託の運用状況等をふまえ、継続的な情報提供に努めています。 定期的なアフターフォローを実施して、保有ファンドの運用状況をお伝えしております。 年に2回基準日を設け、基準価額10%以上下落しているお客さまにフォローを実施しております。 市場急変時には、運用会社が作成する臨時レポートのご提供など、お客さまへのアフターフォローに努めています。
③	この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託は、一般的に複数の銘柄を組み合わせることで投資をおこなうため、株式等を個別に購入するよりもリスクを分散する効果があります。また、投資信託の中には、例えば国内株式と国内債券を組み合わせるなど複数の資産に投資するバランス型ファンドがあり、それらを選択することで、投資対象資産の分散も行えます。 運用は専門家が適切なポートフォリオを構成、投資配分比率の見直し等を行うため、お客さま自身が運用・管理を行う必要がありません。 主なデメリットは、購入時手数料や信託報酬（運用管理費用）等がかかることです。

2. リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損が生じるリスクがあります）

番号	質問	回答
④	投資信託のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託のリスクには、主に「価格変動リスク」「金利変動リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」などがありますが、投資信託（投資する資産）によりリスクの種類も異なります。詳しくは、交付目論見書でご確認ください。

番号	質問	回答
⑤	相対的にリスクが低い類似商品があれば、その商品について説明してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般的には、株式より債券の方がリスクを抑えた運用になります。また、同じ資産に投資する同分類の投資信託においても、インデックスとの連動を目指すタイプの方が相対的にリスクを抑えられる場合があります。 ・ 資産運用においてリスクとは資産の価格（基準価額）の下落幅と同時に上昇幅（振れ幅）を表します。お客様の投資経験・知識・資産の状況に照らし、お客様のリスク許容度に見合った投資信託を選ぶことが重要です。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

番号	質問	回答
⑥	私がこの商品に <u>100 万円を投資したら、実際にどのくらい費用がかかるのか</u> 説明してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入時に支払う費用 $手数料 = 購入金額 \times 購入時手数料率$（税込） ※ 手数料率は購入金額によって異なる場合があります。詳細は目論見書補完書面でご確認ください。 ・ 継続的に負担する費用 $信託報酬 = 投資残高 \times 信託報酬率$（税込） ※ 信託報酬率は交付目論見書をご確認ください。 ・ 運用成果に応じた費用 かかりません。 <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 購入時手数料率 3.3%（税込）、信託報酬年率 1.1%（税込）のファンドを 100 万円購入した場合 [購入時手数料] $100 \text{ 万円} \times 3.3\% = 33,000 \text{ 円}$ [1 年間に負担する信託報酬の金額] $100 \text{ 万円} \times 1.1\% = 11,000 \text{ 円}$ ※ ただし、上記の信託報酬は、基準価額に変動がない前提で計算しています。実際には基準価額が変動し、信託報酬は日々計算されるため、上記と異なる金額になります。換金時に信託財産留保額がかかる場合があります。詳しくは交付目論見書でご確認いただけます。
⑦	投資信託にかかる費用は、どんなサービスの対価か説明してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入時手数料は、お客様への情報提供やご提案、重要事項のご説明、販売にかかる事務手続き等のサービスに対する費用です。 ・ 信託報酬（運用管理費用）は投資信託の運用に関する費用、お客様へのマーケット等に関する情報提供、運用報告書等の作成・送付、分配金・償還金のお支払いの手続き等のサービスに対する費用です。
⑧	費用がより安い類似商品があれば、その商品について説明してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ資産に投資する同分類の投資信託においても、インデックスとの連動を目指すタイプの投資信託は、相対的に費用が安い場合があります。

番号	質問	回答
		<ul style="list-style-type: none"> 当金庫ホームページの「個人のお客さま」からためる・ふやす>投資信託>お取扱ファンド一覧>ファンド一覧>QUICK 投信分類を検索いただくと、同一分類の投資信託をご確認いただけます。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

番号	質問	回答
⑨	投資信託を換金・解約するとき、具体的にどのような「制限」や「不利益」があるのかについて説明してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託の換金時には、信託財産留保額(※)や解約時手数料がかかるファンドがあります。（現在取り扱っている商品の中で、解約時手数料がかかるファンドはございません。） 各投資信託の、注文停止日（金融商品取引所または銀行の休業日）には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。また、投資信託によっては、運用に支障をきたさないために、大口の換金に対して受付時間や金額の制限を行う場合があります。 投資信託の換金・解約の申込時間には制限があり、また、換金代金の受渡し（受渡日）までに日数がかかります。 投資信託を短期間で解約すると、保有期間あたりの購入時手数料が長期間保有した場合に比べ割高となります。 換金・解約に関する事項の詳細は、交付目論見書をご確認ください。 <p>（※）「信託財産留保額」とは、解約に伴って発生する取引コスト等を解約する投資家に負担してもらうために徴収される費用です。解約時のファンドの価格（基準価額）から、「信託財産留保額」を差し引いた価格が、解約代金を計算する価格（解約価額）となります。ファンド運用の安定性と長期に保有する投資家との公平性を確保するためにファンドの資産に留保されるものです。</p>

5. 当金庫との利益とお客さまの利益が反する可能性

番号	質問	回答
⑩	私の利益より販売会社側の利益を優先した運用商品を私に薦めていないでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> 当金庫は法令諸規則を守り、高い倫理観を持って業務にあたっております。 各営業担当者はお客さまの投資経験・知識・資産の状況および投資金額等に照らし、適切な投資信託をご提案するよう心がけています。
⑪	私の利益を害することがないよう、販売会社側においてどのような対策が取られていますか。	<ul style="list-style-type: none"> お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引について、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理を行い、お客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼の向上に努めています。